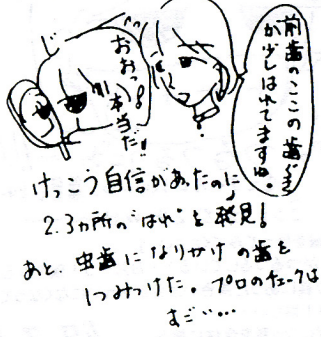


ビバクラブ 体験記

私、ひろのすけ、いい年をして歯医者に行くのが恐くて億劫で虫歯を放置、結果、大虫歯になり、飯島先生に泣きつき、やっとこさでおしてもらった、あの虫歯の痛かった事、つらかった事……涙「もう二度と虫歯は嫌だ。」と言う私に「じゃあ予防すればいいんですよ。」とPMTCを薦められた。「痛くないなら……」と、今回の体験となった。

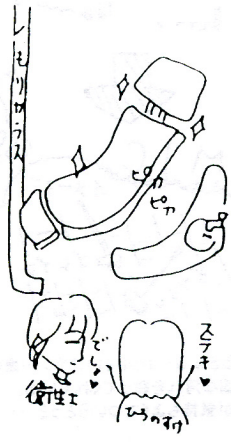


衛生士さんと
歯のチェック



量りカラスの間仕切りで仕切られた椅子へ案内される。椅子はいつもの治療台より少し広めでゆったり。椅子と別の洗面台。自分で水をコップに入れられる。治療台というよりは、エステの施術台のような雰囲気。少しほっとする。

まず、衛生士さんが歯の状態をチェック。細い金歯のような物を歯茎にあてて歯茎を点検。金歯がらよんちよんちよんと歯茎にあたるのがわかる。少しくすぐつたい。



「痛くないっ痛くないっ」としつこく念をおす私に「大丈夫ですよ」と衛生士さんが笑顔で対応。トキドキしながらいざ、体験。

「歯茎の腫れ」という言葉は聞きおぼえがあるが、実際どういものが「腫れている状態」なのかはわからなかった。歯茎が腫れている状態の写真を衛生士さんにみせてもらう。「なるほど……これが腫れている状態ですか。」ふむふむ。へえ～腫れたらこうなるんか～と他人事を話を聞いていたら、鏡を持たされた。「ひろのすけさんの歯茎は前歯のこの辺りが少し腫れています。ほら、他に比べてぷっくりしているでしょ。」鏡を覗き込む。自分の事となれば目が血のようになる。

次に

レッドコート



「ひろのすけさん、かなり上手に磨けていますよ!」
「そうですか。」
「要められて少し嬉しくなる」
「あとこの部分が磨けたら完璧ですよ。」
要めて伸ばしてくれる衛生士さん、乗りやすい私にはびつたり。

一通り質問と説明が終わわり、次に歯の汚れ方を見る。歯の汚れが赤く染まる薬品を塗布で塗ってもらう。歯医者に来る前だからと少し念入りに磨いてしまった。ありのままを診てもらったほうが良かったか……。ありのまますぎるかと汚すぎるか……と考えているうちに塗り終わる。

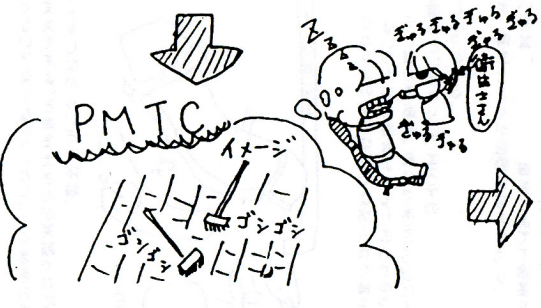
スクレーピング



歯みがき指導



歯ブラシをもって、普段の磨き方をするようにいわれる。なるほど、普段の磨き方では赤く染まった汚れを落とせない。「歯ブラシを縦に持ってみてください。」綺麗に汚れが落ちる。なるほど……ちよつとしたことなのだが、汚れの落ちが全然違う。



「ぎゅるぎゅるぎゅる……」と小さいブラシが歯の上で回転。研磨剤で頑固な汚れを取ってくれている。細かい振動が気持ちよくてついうとうと……

「舌で歯を触ってみてください。」
前歯がつるつるしている!! おお～!! 鏡をみる。前歯の裏にあった茶色い着色がきれいになくなっている。すごい! 嬉しい!
仕上げにフッ素を全体に塗る。

終了!

後日……

「PMTCを受けた日から、身近に感じるようになった自分の歯。歯磨きも指摘された事を思い出して意識しながら磨いている。しかし、人間の記憶なんてあやふや。注意された事の全てを覚えておくなんてなかなか出来ない。この体験記を書いているときに、飯島歯科からお手紙が……「おおっ!!」
先日おこなった検診の結果が自分の歯の写真つきで送られてきた。そういえば……
「写真を一枚撮りますね。」
と歯の汚れを赤く染めた直後に一枚写真をとったっけ……
汚れを除去するまえの自分の歯ともう一度こんには。担当してくれた衛生士さんがもう一度磨き方を書いてくれている。このにくい心配りに大感謝! ありがとう!! がんばります!!
また4ヶ月後に綺麗な歯で行きます! ビバ! 飯島歯科!



今回は4ヶ月後との事。治療台は3000円くらいだった。ひろのすけ、京都から飯島歯科に通っていた。4ヶ月に一度の間隔なら続けられそう。気持ち良いし、これであの痛い虫歯と縁が切れるなら万々、満足の大ビバクラブでした。

